

宮城県感染症発生動向調査情報

2023.1.9 ~ 2023.1.15 - 第2週 -

令和05年01月19日発行

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当たり

疾病	保健所					仙台市	宮城県(含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	石巻	気仙沼		患者数	累計	第51週	第52週	第1週	第2週
水痘	1 0.25	2 0.20	2 0.29	1 0.13		1 0.04	7 0.12	10				
流行性耳下腺炎							0 0.00	2				
感染性胃腸炎	53 13.25	30 3.00	34 4.86	26 3.25		137 5.07	280 4.83	408	◎	◎	◎	◎
手足口病							0 0.00	2				
伝染性紅斑						2 0.07	2 0.03	4				
突発性発しん	2 0.50	1 0.10	1 0.14	3 0.38	1 0.50	7 0.26	15 0.26	26				
ヘルパンギーナ							0 0.00	0				
インフルエンザ	39 5.57	16 1.00	16 1.45	23 1.77	3 0.75	61 1.39	158 1.66	329	○	◎	◎	◎
咽頭結膜熱		1 0.10	2 0.29			5 0.19	8 0.14	14				
流行性角結膜炎						4 0.67	4 0.33	7				
急性出血性結膜炎							0 0.00	0				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2 0.50					2 0.07	4 0.07	14				
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)						1 0.20	1 0.08	1				
無菌性髄膜炎							0 0.00	0				
マイコプラズマ肺炎							0 0.00	0				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)							0 0.00	0				
RSウイルス感染症	2 0.50			3 0.38		4 0.15	9 0.16	33	◎	◎	レ	
感染症胃腸炎(ロタウイルス)							0 0.00	0				
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)				1							
	川崎病					1			◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○: 発生または流行について、今後の情報に留意 レ: 発生が少なくなっている傾向			
	不明発疹症					2						

※ 今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 2例

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核
仙南管内 男性1名(第1週)
仙台管内 男性1名, 女性1名

3類感染症: 報告なし

4類感染症: レジオネラ症
大崎管内 男性1名(第52週), 男性1名

5類感染症: カルバペネム耐性腸内細菌感染症
仙台管内 男性1名(第1週, *Klebsiella aerogenes*)
劇症型溶血性レンサ球菌感染症
大崎管内 男性1名(第50週), 女性1名
侵袭性肺炎球菌感染症
仙南管内 男性1名
梅毒
大崎管内 女性1名(第52週)
仙台管内 男性1名, 女性2名
男性1名(第1週)
女性3名(第51, 第52, 第1週)

新型インフルエンザ等感染症: 新型コロナウイルス感染症(患者総数)
宮城県(仙台市を除く) 7,446名
仙台市 6,001名

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

警報・注意報の発令はありません。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

新型コロナウイルス感染症患者より
石巻管内 第2週採取分 SARS-CoV-2 4件
気仙沼管内 第2週採取分 SARS-CoV-2 1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確定	中間	報告
	第51週採取分 (12.19~12.25)	第52週採取分 (12.26~1.1)	第1週採取分 (1.2~1.8)
インフルエンザウイルスA(H3)	6件	3件	0件
インフルエンザウイルス(解析中)	0件	0件	2件
RSウイルス	2件	2件	0件
単純ヘルペスウイルス	0件	0件	2件

4. 今週のコメント

【新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ】

県内の第2週の新型コロナウイルス感染症患者数は13,447名と前週から減少しましたが、引き続き高い水準で推移しています。依然として医療機関の負荷が大きい状況であることから、県は「みやぎ医療ひっ迫危機宣言」の実施期間を2月13日まで延長しました。

また、インフルエンザの第2週の患者数は158人と前週よりわずかに減少しましたが、仙南管内では増加しており今後の動向に注意が必要です。
新型コロナウイルス感染症、インフルエンザともに基本的な感染対策が感染予防に有効ですので、引き続き基本的な感染対策の徹底に努めてください。

【感染性胃腸炎】

県内の定点医療機関からの患者報告数は前週の128名から280名に倍増し、県内全域で増加傾向にあります。

感染性胃腸炎は、嘔吐、下痢などを主な症状とする感染症で、ノロウイルスなどのウイルスや腸管病原性細菌が主な原因となります。例年、冬季にはノロウイルスなどによる流行がピークを迎えます。今後の動向に注意し、調理・食事前の手洗いなど、日常生活での予防対策を徹底してください。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362

HPアドレス: <https://www.pref.miyagi.jp/site/hokans/kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

